

教員業績（論文・著書・翻訳・研究ノート・国際学会発表）一覧  
（2020年6月～）

三木 潤一（教授）

[論文]

三木潤一・川崎雄二郎・萩原茂樹「地方公共サービスにおける人員・車両・施設等の最適資源配置問題—救急・消防に関する検討—」『CIPFA Japan ジャーナル』（英国勅許公共財務会計協会日本支部）第5号、2021年3月発行予定。（査読有り）

[報告書]

三木潤一・小嶋健太・川崎雄二郎「令和元年度 酒田市観光に関する調査研究」調査研究業務受託（酒田市）報告書、全38頁、2020年。

[https://www.city.sakata.lg.jp/kosodate/kouekibunka/koekidaikanrenjoho/univ\\_machidukuri.files/2019kankochosa.pdf](https://www.city.sakata.lg.jp/kosodate/kouekibunka/koekidaikanrenjoho/univ_machidukuri.files/2019kankochosa.pdf)

灰谷 和代（准教授）

[学会報告]

灰谷和代「オンライン活用によるソーシャルワーク実習プログラムの検討—新型コロナウイルス感染症の発生に伴う実習対応から—」日本社会福祉学会 第68回秋季大会（2020年9月）本論集 99-107項に加筆し掲載

灰谷和代「市町村の人口規模に応じた保育現場との連携モデルの検討—3つの市町での取り組みから—」日本子ども虐待防止学会 第26回学術集かいしかわ金沢大会（2020年11月）大会要旨集P159に報告要旨掲載

[報告]

灰谷和代「第6回研究大会報告—第6回研究みえ大会報告—」日本保育ソーシャルワーク学会『保育ソーシャルワーク学研究』第6号 3項 2020年12月

灰谷和代、他6名「第6回研究大会報告—公開シンポジウム報告—」日本保育ソーシャルワーク学会『保育ソーシャルワーク学研究』第6号 5-6項 2020年12月

倉持 一（准教授）

[共著]

倉持 一（2020）「ソーシャル・イノベーションの理論と実践」『CSR白書2020  
ソーシャル・イノベーションを通じた社会的課題の解決に向けて』東  
京財団政策研究所、78-86頁。

玉井 雅隆（准教授）

[論文]

玉井雅隆「冷戦期CSCEプロセスにおけるソ連外交とマイノリティ」『東北公  
益文科大学総合論集』第38号

[学会報告]

玉井雅隆「OSCEにおけるメディアとマイノリティー自由メディア代表、少数  
民族高等弁務官の活動に焦点を当てて」グローバル・ガバナンス学会  
第13回研究大会報告

樋口 恵佳（講師）

[研究ノート]

樋口恵佳「国連海洋法条約における条約の実施状況把握体制 —締約国会議  
（SPLOS）と国連総会、「権限のある国際機関」の「分業」体制に着  
目して」『日本海洋政策学会誌』第10号 16-27 2020年11月

[その他]

藤井麻衣、樋口恵佳「モーリシャスにおける貨物船からの油流出事故の法的側  
面－船舶由来海洋汚染の防止と損害賠償・補償の観点から」OPRI  
Perspectives 第11号 1-13 2020年9月

URL : [https://www.spf.org/opri/news/20200915\\_3.html](https://www.spf.org/opri/news/20200915_3.html)